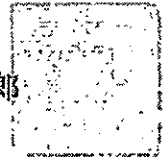


安都政第211-1号
平成20年10月23日

国土交通省道路局長 様

安来市長 島 田 二 郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標題の件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

島根県安来市

費用対効果だけで評価するのではなく、交通安全、災害時の代替路線の確保、地域振興等、多様な視点から地域の実情に即した道路整備を進めていくべきである。

②-1 地域の現状と抱える課題

島根県安来市

○現状

本市の産業の中心は製造業であり、急速に進展する技術革新や世界的な市場構造の変化、また高度情報化や国際化などの産業環境に的確に対応できる基盤整備が急務である。

また、市町村合併をひとつの契機として、中海圏域では観光・交流・産業・環境など、さまざまな連携が進みつつあり、都市機能の相互補完による新たな都市圏形成への期待が高まりつつある。

○課題

島根・鳥取両県を繋ぐ国道9号の慢性的な交通渋滞と、代替路線の整備が不十分なことにより、効率的な物流や広域連携に支障を来しているだけでなく、災害時等の緊急輸送にも不安を残している。

②-2 地域の目指すべき将来像

島根県安来市

本市は、島根・鳥取両県の結節するエリアに位置し、中海沿岸都市の連携においても高速交通網や鉄道、空港・港湾への近接性を含めて交流・連携の要衝地であることから、中海圏域の広域的な交流と発展の先導的役割を果たすことを目指す。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

島根県安来市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 広域連携の推進 ・ 国際競争力強化のための交通サービスの向上	中海架橋の建設	島根・鳥取県境の国道9号の渋滞緩和により、中海圏域の人、物の流れが活性化し、産業の振興、広域観光の推進を図ることができる。 特に、本市の主要産業であり世界的なブランドとなっている特殊鋼（ヤスキハガネ）の生産拠点と、韓国、ロシアを繋ぐ国際定期貨客船就航が予定されている鳥取県の境港を最短で結ぶことにより、飛躍的な産業発展と中海圏域全体への経済波及効果を期待できる。 また、鳥取県の米子空港とも最短で結ばれるため、境港と併せて中海圏域全体の交流人口の拡大も期待できる。	
・ 地域活力の向上 ・ 災害に強い国土づくり	国道432号の改良促進	国道432号は、県都松江と本市を結ぶ最短路線というだけでなく、年間46万人の観光客を集める足立美術館と、世界遺産の石見銀山を結ぶ広域観光ルートの重要路線であり、その改良により、さらなる集客とそれに伴う地域振興が期待できる。 また、交通の難所を解消することにより、災害時等の代替路線や緊急輸送道路網としての機能も期待できる。	足立美術館は米国専門誌から6年連続ランキング1位の評価を受ける日本庭園を擁しており、海外からの観光客も多い。